

1. 件名：原子力エネルギー協議会との面談

2. 日時：令和3年9月30日（木）16：00～17：30

3. 場所：原子力規制庁8階会議室

4. 出席者：

原子力規制庁	技術基盤グループ技術基盤課	佐々木企画調整官
	原子力規制部原子力規制企画課	関口係長

原子力エネルギー協議会（以下「ATENA」という。） 事務局長、他5名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨：

ATENA と原子力規制庁は、次回の主要原子力施設設置者（被規制者）の原子力部門の責任者との意見交換会の議題について意見交換を行い、引き続き、調整していくこととした。

ATENA から、配付資料1に基づきデジタル安全保護回路のソフトウェア共通要因故障に係る対応フローについて説明を受けた。具体的な内容については、今後とりまとめ、原子力規制庁に説明する予定とのこと。

原子力規制庁は、9月9日の技術情報検討会において報告した回路解析に関し、事業者の検討状況について時期をみてATENA から公開で意見を聴取したい旨説明した。ATENA より、対応する旨回答があった。

○ATENA より、大飯3号加圧器スプレイラインの亀裂に関する検討状況について、来年上期を目処に、計画を原子力規制庁に報告予定であること等について説明があった。

原子力規制庁から、来年度の「審査実績を踏まえた規制基準等の記載の具体化・表現の改善」の計画策定に関し、意見があれば提出するよう依頼した。

6. 配付資料：

資料1 「デジタル安全保護回路のソフトウェア共通要因故障への対応」に基づく各事業者の安全対策実施の状況確認について

資料2 製造から長期経過したMOX燃料に関する対応について

以上